

上町台地の魅力伝えたい

湧き水で、日本酒造り 街の風情、絵はがきに

上町台地エリアの魅力を広く発信したいと、地元の貸し自転車店やカフェの店主らが、上町台地ならではのおみやげ品づくりに取り組んでいる。これまで、風情ある街の風景を描いた絵はがきセットや、上町台地で湧く井戸水を使った日本酒を商品化した。メンバーは「歴史ある町だけに見つめ直す」とネタはいろいろある。おみやげ品作りを通して魅力を再発見したい」と話している。

おみやげ作りに取り組んでいるのは、上町台地の活性化を目指す「西代官山クラブ」代表で、貸し自転車店を営む小田切聰さん(31)。上町台地は、大阪城から南に伸びる丘陵地で、訪れる観光客も増えている中、観光客が家に帰

てからも上町台地を思い出してもらいたいと、知り合いのカフェの店主や、会社員らを誘っておみやげ品作りの企画を練った。3月に完成した第一弾は、上町台地の湧き水を



地元商店主ら アイデア実現

力で奈良の酒蔵で作った。

また、先月完成したばかりの第2弾の絵はがきセットは「天王寺七坂」

がテーマ。天王寺に事務所を置くデザイナーが協力し、職田作之助の小説

使った日本酒。江戸時代、上町台地は名水の湧く場所として有名だったことに着目し、今も使われている井戸の所有者にかけ合って、水を分けてもらいうち、地元の酒店の協

にも登場する石骨の「口綱坂」や、曲がりくねった坂が続く静かな「源聖寺坂」など、情緒あふれる風景が描かれている。小田切さんは「地元の人々に協力してもらつてで

きた商品。伝統野菜や文

学の舞台などネタはまだ

い」と話していた。

日本酒「からほり」は

わせは、「うえまち貸自

転車」(5070・56

64・8184)へ。

5枚で500円。

商品についての問い合わせは、

日本酒「からほり」は